



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和4年 7月 1日

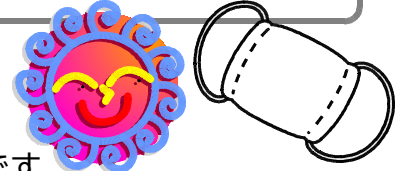
No.3

児童数 69名

校長 穴戸 与一

夏 本 番

～ 熱中症対策とコロナ対策 ～



梅雨が明けました。6月の梅雨明けは観測史上初とのこと。

梅雨明けはうれしいのですが、これから連日猛暑が続くのかと思うと気がめいってしまいます。子どもたちは元気に学校生活を送っております。新型コロナウイルス、まだ終息を見るに至っていませんが、少しずつ制限も緩和されてきています。

6月17日付で「新型コロナウイルス感染症対策におけるマスク着用の留意点について」を配布しましたが、厚労省、文科省からも「子どものマスク着用について」が発表されています。それによりますと

マスク着用の必要なし

【屋外】①人との距離が確保できる

②人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合

【屋内】①人との距離が確保でき会話をほとんど行わない場合

「学校生活において屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際も」

熱中症予防の観点を踏まえ、子どもたちにマスク着用について話をしているところです。子どもには、人との距離や状況判断することは、難しいことかもしれません。しかし、伝えながら考えさせていきたいのです。自身の健康は、自身で守れるようになっていくためのトレーニングととらえて指導していきたいと考えます。このことについては、ご家庭ごとにお考えや状況も様々で「まだ心配だから、マスクを着けてほしい」「家族のことを考えると登下校はマスクをつけさせたい」等のご要望もあろうかと思えます。そのような場合には遠慮なくお知らせください。様々な状況や都合があることも踏まえて指導することで、多様な考えを受け止める力につながるチャンスでもあります。

本校の英語教育

1・2年生は年間10時間、3・4年生は年間35時間、5・6年生は年間70時間、外国語の学習を行います。3・4年生は、大坂敬子先生、5・6年生は、Jesse（ジェシー）先生と一緒に、英語のチャンツを練習したりゲームをしたりして楽しみながら英語の音声やリズムなどに親しむ姿が見られています。高学年では、話す・聞く・読む・書くといった様々な能力を養う活動が導入されています。小学生のうちから、たくさんの英語に触れることで「外国の方と話してみたい」「英語を話すことが好き」という思いをもち、積極的にコミュニケーションが取れるようになってほしいと願っています。